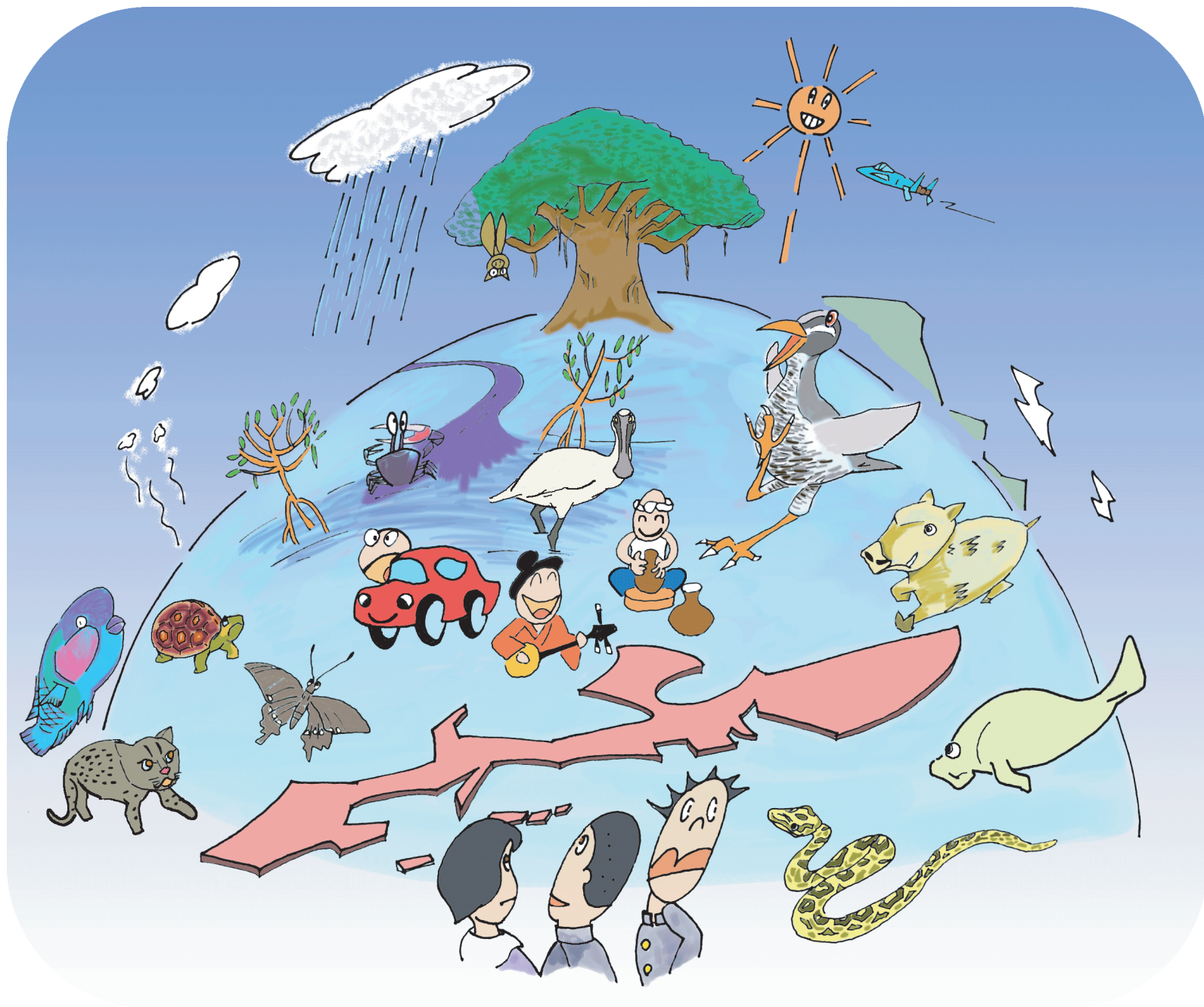


沖縄県環境教育プログラム (中学校編)



沖縄県

はじめに

環境教育・環境学習とは何でしょうか？

一言でいえば、『持続可能な社会』の実現のため、「体験を通じて、自ら考え、調べ、学び、そして行動する」というプロセスを重視した教育・学習になると思います。

気候変動(地球温暖化)や熱帯雨林の消滅、オゾン層の破壊など、地球規模の問題が生じています。私たちはこうした問題に、どう向き合えばいいのでしょうか？ 一方、足元の私たちの沖縄でも、どのような状態で沖縄の海や山を未来の世代に渡すのでしょうか？

環境教育の出発点は、今の私たちの「在りよう」に気づくことだと思います。今あることや今あるもの、いいこともあるでしょうし、これは困ったということもあるでしょう。このような「在りよう」を知ることから、また地域のことを知ることから、環境教育を始めたいと思います。またそのことから、地球規模の問題を考えていきたいと思います。「急がば回れ」、「急がば地域から」です。

この冊子は、中学校での環境教育の実践に役立つように作られましたが、その他、地域での環境学習などでも参考にしてもらえらるような、具体的なアクティビティで組み立てられています。

学校の先生方をはじめ、指導するみなさんにこの冊子が活用され、環境学習の定着に役立つことを願ってやみません。

ちゅら島環境 21 宣言文

- わたしたちは、限りある資源を大切にするために、ゴミを減らし、できる限りの再利用を心がけます。
- わたしたちは、生き物のいのちを大切にす環境づくりを心がけるために、自然環境を汚したり壊したりしない努力を、身近なところから行います。
- わたしたちは、自然を大切にす心もち、環境について深く考えながら、よりよい地球環境づくりをめざして努力をします。
- わたしたち沖縄県内すべての学校は、6月の環境月間において、身のまわりの環境を美しくするための取組を行います。

平成 14 年 5 月 17 日、浦添市民会館において、平成 14 年度小・中学生フォーラム「ちゅら島環境 21」が、約 700 名の小・中学生、教諭等の参加で開催されました。

このフォーラムは、平成 13 年度「ちゅら島環境 21」の宣言を受け、各小・中学校で展開してきた環境に関する取組を発表するとともに、討論を通して環境問題に関する意識の高揚及び取組の一層の充実を図ることを目的として開かれました。

最後に、平成 14 年度「ちゅら島環境 21」の宣言文が読み上げられ、参加者全員の承認が得られ、盛会のうちに閉会しました。

沖縄県教育庁義務教育課ホームページより抜粋

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/contview.jsp?cateid=192&id=871&page=1>

この冊子の利用の仕方

1 冊子を作るにあたって

環境教育・環境学習の重要性が認識されてから、だいぶ時間が過ぎたように思います。しかしこの間、学校教育現場で環境教育が定着したかという点、必ずしもそうではないようです。

そこで、すこしでも学校現場で使える環境教育プログラムの作成を目指しました。そのため考慮したことは、できる限り身近な素材を取り上げる、生活科や総合学習の時間でも取り上げることが出来る、環境教育を実践しているグループ・団体の情報も取り入れる、ことなどです。

この環境教育プログラムが学校現場や地域で使われ、環境教育の普及に少しでも貢献できればと願います。実際に活用してみて、感想や改善点などがありましたら、ぜひお寄せください。

2 構成

(1)はじめに

環境教育・環境学習の重要性やその目標を述べています。

(2)この冊子の利用の仕方

この冊子の構成や利用の仕方について述べています。

(3)環境教育プログラム・アクティビティ集

プログラムを大きく四つの項目に分け、それぞれにアクティビティを収録しています。

ア 「くらしを探検」アクティビティ集

主に日常のくらしに関連したアクティビティを収録しています。日々の生活を送る中で、気づかずにやり過ごしてしまっていることや見えなくなっていること、これからの行動で気づいてほしいことなどを中心に組み立ててあります。

イ 「ごみを探検」アクティビティ集

ごみに関するアクティビティを収録しています。ごみ問題は全国的なものですが、とくに島嶼県の沖縄では切実な問題といえます。ごみについて考え、ごみを減らすための行動をとるきっかけ作りになるように組み立ててあります。

ウ 「水を探検」アクティビティ集

水に関連したアクティビティを収録しています。沖縄では水の問題も重要といえます。河川や湧水に気づくことや、水の使い方を考えるきっかけ作りとなるように組み立ててあります。

エ 「生き物を探検」アクティビティ集

沖縄県には、特色のある生き物が数多く生息しています。その一方で、外来種も増えているという問題があります。身近に接することができる在来種や外来種について調べ、知ることが出来るように組み立ててあります。

(4) タウンページ

アクティビティのより効果的な活用を目的とした情報を掲載しています。

(5) 環境教育情報コーナー

ア サポーターガイド

県内で、環境教育・環境学習を実践している NGO・NPO や公共機関についての情報を掲載しています。学校で環境教育を実践する際に役立ててください。

イ 環境教育情報

環境教育に活用できる情報を得ることのできるインターネット情報を掲載しています。学校での環境教育の実践に活用してください。

ウ 安全のために

とくに野外活動を行うときの注意事項を掲載しています。

3 アクティビティの構成

アクティビティは次のような構成になっています。

(1) ねらい

アクティビティが何を目的として行うのか、目標を記しています。

(2) 関連教科

アクティビティが向いている教科を記しています。しかしこれはあくまでも目安です。各学校・学年の実態に合わせて活用してください。

(3) 用意するもの

アクティビティの実践に際して、事前に用意しておくものを記しています。

(4) 進め方

アクティビティの進め方について記しています。進め方を、「問いかけ」、「本題」、「気づき」の三段階で記しています。またいくつかのアクティビティでは、アクティビティをより深められる「発展」を設けてあります。

ア 問いかけ

アクティビティを始めるに当たってのきっかけを記しています。

イ 本題

アクティビティの内容について記しています。

ウ 気づき

アクティビティが終了した時のふりかえりで確認したいことを記しています。

エ 発展

さらに、アクティビティを展開する際のアドバイスを記しています。

このほか、「メモ」は知っておくとアクティビティの実践に役立つ情報を記しています。